

2026

6.24 (水) 12:10  
12:50

12:10-12:15

◆発表者紹介

12:15-12:40

◆プレゼン

12:40-12:50

◆質疑応答

オンライン  
(Zoom)

登録はこちら▶▶

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_GwcU5qgyQv-6xWz9AaTd2A](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_GwcU5qgyQv-6xWz9AaTd2A)

【技術支援】九州大学 Q-AOS

# 自然界で起こるサスペンス： 寄生者に操られ実母を殺める働きアリや 網を張り替えさせられるクモ



## Key Words

寄生性昆虫

行動操作

寄主

一時的社會寄生性アリ

クモヒメバチ

高須賀 圭三 助教

理学研究院 生物科学部門

愛媛大学大学院連合農学研究科で農学の修士号および博士号を取得。博士課程からポスドクにかけてインドネシアで単身での調査を続け、インドネシア語検定C級を取得し平和中島財団の留学生奨学生としてガジャ・マダ大学（ジョグジャカルタ）に留学しました。学位取得後は学振 PD 等の身分で神戸大学大学院農学研究科に5年間所属し、その期間中に発表したクモヒメバチによるクモ網操作に関する研究成果 (Takasuka *et al.*, 2015 *J. Exp. Biol.*) は海外の大手メディアから報道されるなど、大きな反響を生み出しました。その後、学振 RPD や特任助教の身分で慶應義塾大学先端生命科学研究所に7年間所属し、世界のクモヒメバチ類約300種の既存する生態情報をすべて網羅した100頁超の総説論文 (Takasuka & Broad 2024 *Contrib. Zool.*) を上梓するなどしました。九州大学大学院理学研究院に助教として着任したのはわずか2年前で、移籍2年目の昨年発表した社会寄生アリによるワーカーに母殺しを教唆する行動操作の論文 (Shimada *et al.* 2025 *Curr. Biol.*) は、衝撃的な発見として世界中で報道されました。

生物の世界はパラサイトであふれています。しかも、特定の寄主に巧みに宿って栄養を奪い取るだけでなく、寄主を意のままに操って寄生者にとってメリットになることを無理やりさせる「寄主操作現象」が多様な種で知られています。その見事な戦略はまさに生物界の策士と言えるでしょう。

本セミナーではパラサイト昆虫の代表格とも称される「捕食寄生バチ」と他のコロニーに侵入し巧妙に労働力を搾取する「一時的社會寄生性アリ」に焦点を絞り、驚くほど狡猾で多彩な寄主操作の数々を紹介します。

パラサイトというとホラーな生物を想像してしまいがちですが、その生態は面白さのかたまりなのです。命のやり取りをかけた自然界で繰り広げられる仁義なき戦いを一緒にのぞいてみましょう。